

# コーパスを利用した複合動詞「一渋る」の意味分析

杉村 泰

## 1. はじめに

日本語の複合動詞(V1+V2)における前項動詞(V1)と後項動詞(V2)の結合可能性については、「他動性調和の原則」(影山1993)や「主語一致の原則」(松本1998)が指摘されている。しかし、影山(1993)自身も認めているとおり、「一込む」(押し込む、駆け込む、はまり込む)や「一去る」(葬り去る、走り去る、過ぎ去る)のように「他動性調和の原則」に適合しないものもある。同様に、「主語一致の原則」も「(相場が)持ち直す」や「(日が)照り返す」のように適合しないものもある。

複合動詞のV1とV2の結合を見る場合、実際には多数の動詞の組み合わせを見る必要がある。しかし、従来の研究では限られた用例をもとに議論が進められることが多かった。これに対し、筆者はインターネットのWWWページをコーパスとして大量のデータを扱うことにより、実証的にV1とV2の結合規則を導き出す研究を進めている。たとえば、杉村(2007c)では複合動詞「一疲れる」について分析し、「一疲れる」は「他動性調和の原則」には従わず「主語一致の原則」に従うこと、「読む」や「食べる」のように主体自身の変化を表す他動詞や「歩く」や「遊ぶ」のように主体自身に影響を及ぼす非能格自動詞とは共起しやすいが、「壊す」や「燃やす」のように対象への影響を表す他動詞や「行く」、「来る」、「泊まる」、「暮らす」のような非能格自動詞とは共起しにくいことを明らかにした。本稿はこのような研究の一環として、複合動詞「一渋る」について考察したものである。

## 2. 先行研究

影山(1993)は日本語の動詞を他動詞、非能格自動詞、非対格自動詞の3つに分類

杉村 泰

し、次のように複合動詞の V1と V2の結合には「他動性調和の原則」が働いていると主張している。(例外のあることも認めている。)

- (75) a. 他動詞: (x <y>)
- b. 非能格自動詞: (x <>)
- c. 非対格自動詞: <y>

V-V 型の複合動詞においては、この項構造が決定的な意義を持っている。(中略) 他動詞(75a)と非能格自動詞(75b)の項構造は同じタイプと見なすことができるから、他動詞+他動詞、非能格自動詞+非能格自動詞だけでなく、他動詞と非能格自動詞が混在した複合動詞も可能である。他方、非対格自動詞の項構造(75c)はこれら二者とは形式が異なるから、基本的に非対格自動詞は非対格自動詞としか結合しない。これを他動性調和の原則と呼んでおこう。

(影山1993:117)

影山(1993)は非能格自動詞と非対格自動詞の区分について、「意味的には、ごく大雑把に言うと、意図的に動作を行なう動作主 (Agent) を主語に取る自動詞が非能格、意図を持たず受動的に事象に係わる対象 (Theme) を主語に取る自動詞が非対格である (p.43)」とした上で、両者の区別が統語構造に反映されることを例を挙げて示し、「非対格性という概念は単に動作主や対象といった意味役割の問題ではなく、統語的な性質を帯びることになる (p.47)」と論じている。

これに対し、松本(1998)は影山(1993)における非能格自動詞と非対格自動詞の認定方法の妥当性に疑問を持ち、再検証した結果、「多くの動詞が非対格性のテストにも、非能格性のテストにも合格する。また、影山が非対格としている「居る」は非能格とする根拠の方が多く、反対に非能格として扱われている「降る」は非対格とする根拠が多いことが分かる (p.41)」と指摘した。その上で、テストの結果ほぼ完全に非能格+非対格、他動詞+非対格と認定できるものとして(1)、(2)の例を挙げ、これを「他動性調和の原則の真の反例と考えられる (p.50)」と述べている。

- (1) 非能格自動詞+非対格自動詞  
      歩き疲れる、遊び疲れる、泳ぎ疲れる、立ち疲れる、座り疲れる、しゃべり疲れる、鳴きくたびれる、走りくたびれる、泣きぬれる、泣き沈む
- (2) 他動詞+非対格自動詞  
      読み疲れる、待ちくたびれる、飲みつぶれる、食いつぶれる、聞きほれる、見ほ

れる

(松本1998:49の例(15b)、(15c))

これにより、松本(1998)は複合動詞のV1とV2の結合可能性について、「他動性調和の原則」より制約の緩い「主語一致の原則」によって説明できるとした。「主語一致の原則」とは、「二つの動詞の主語として実現する項が同一物を指す、というもので、主語になるものであれば外項同士(あるいは内項同士)である必要はない(p.52)」というものである。その上で、松本(1998)は「これに、意味構造に課せられた意味的諸条件が重なって各タイプの複合動詞が制約される(p.52)」と論じている。

次に、本稿で分析の対象とする「-渋る」に目を向けると、本動詞の「渋る」には例(3)～例(5)のように対象をヲ格で表示し、「当該の行為をするのに気が進まず、躊躇してなかなかその行為に出ない」ことを表す他動詞用法と、例(6)～例(8)のように対象をガ格で表示し、「物事の進行が滑らかに進まず、滞った状態になる」ことを表す自動詞用法があることが分かる。後者の場合、「意図を持たず受動的に事象に係わる対象(Theme)を主語に取る自動詞」であるため、非対格自動詞であると考えられる。<sup>1</sup>

- (3) 彼は返事を渋っている。
- (4) 作家が執筆を渋って原稿を書いてくれない。
- (5) 銀行が企業に金を貸すのを渋る。
- (6) 記者は被害者の無念を思うと筆が渋った。
- (7) 最近この雑誌は売れ行きが渋っている。
- (8) 便意はあるのに、腹が渋って便が出ない。

一方、複合動詞の「-渋る」は例(9)、例(10)のような他動詞の用法、例(11)、例(12)のような非能格自動詞の用法、例(13)、例(14)のような非対格自動詞の用法の3つがある。このうち他動詞と非能格自動詞の「-渋る」は、それぞれV1に他動詞、非能格自動詞を取り、V2に他動詞の「渋る」を取る。これに対し、非対格自動詞の「-渋る」は、例(13)のようにV1もV2も非対格自動詞を取る場合と、例(14)のようにV1は他動詞でV2は非対格自動詞となる場合がある。後者の「下げ渋る」や「上げ渋る」を経済用語特有の例外と考えると、「-渋る」は基本的に「他動性調和の原則」にも「主語一致の原則」にも従うこ

<sup>1</sup> 本動詞「渋る」の意味については『旺文社国語辞典』(第8版)、『新明解国語辞典』(第4版)、『使い方の分かる類語例解辞典』、『広辞苑』(第3版)を参考にした。

杉村 泰

とが分かる。<sup>2</sup>

- (9) 彼は寄付金を出し渋っている。
- (10) 銀行が企業に金を貸し渋る。
- (11) 子供が学校に行き渋る。
- (12) 不景気で客がタクシーに乗り渋る。
- (13) 最近尿が出渋る。
- (14) 景気もそこをつき、株価が下げ渋る。

さて、ここで問題となるのは、例(15)～例(20)に示すように、V1とV2が「他動性調和の原則」と「主語一致の原則」のいずれにも従う場合でも、必ずしも「一渋る」が成立するわけではないことである。後で論じるように「一渋る」のV1に来る動詞はかなり限られている。

- (15) \*医者が患者の病気を治し渋る。
- (16) \*生徒が学校に来渋る。
- (17) \*子供は疲れたので歩き渋った。
- (18) \*子供はまだ遊びたいと言って寝渋った。
- (19) \*この患者の病気は治り渋っている。
- (20) \*材料の分量を間違えてプリンが固まり渋っている。

「一渋る」については『新明解国語辞典』(第4版)や『使い方の分かる類語例解辞典』などに「出し渋る」の例が出ているぐらいで、それ以上の詳しい研究はない。松本(1998)によると、複合動詞は「主語一致の原則」に加え「意味的諸条件」によって制約されることが述べられている。そこで、本稿では「一渋る」のV1に課せられる意味的特徴を明らかにすることにする。

### 3. コーパス調査の概要

本稿ではインターネットのWWW ページをコーパスとして、「一渋る」がどのような動詞と共起しやすいのかを見る。WWW ページをコーパスとして使うことに関しては、不自然

<sup>2</sup> 経済用語の複合動詞に関しては、杉村(2006)で「(相場が)持ち直す」などについて、杉村(2007b)で「(景気が)揺り戻す」などについて考察した。

な表現が混じる、データの保存性が悪い等の批判もある。しかし、巨大データを検索エンジンで手軽に検索できるのは魅力的である。荻野(2007:32)も「WWWをデータベースとして考えると本質的な欠陥があるのだが、検索エンジンの返してくる検索件数を単純に信じるのではなく、WWW上の用例を個別に読みながら利用すれば、使い物になる面があるのではなかろうか」と主張しているように、使い方次第でWWWページは有用なコーパスになると考えられる。<sup>3</sup> 実際、『新潮文庫の100冊』の検索結果と比べると、WWWページの方がコーパス規模が巨大であり、特定のジャンルに偏らずに検索できる分、日本語の総体を見るには有利であることが分かる。以下、本稿で使用したコーパスの概要を記しておく。

① CD-ROM版『新潮文庫の100冊』

検索対象: 日本人作家による67冊

検索方法: ソフトに付いている検索機能で「渋」、「しぶ」が付く表現を全て検索し、その中から複合動詞「一渋る」を抽出した。(名詞の「～渋り」は含めていない)

② インターネットのWWWページ

検索エンジン: gooのフレーズ検索(<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日: 2008年9月13日～2008年9月17日

検索方法: 前項動詞(V1)は『日本語基本動詞用法辞典』にある852語を含む1,068語を対象とし、これと漢字表記の「一渋る」、「一渋った」、「一渋らない」、「一渋らなかった」、「一渋ります」、「一渋りました」、「一渋りません」、「一渋って」の共起について検索した。表2にはその合計ヒット数を示してある。(連用形の「一渋り」は名詞の「～渋り」も多数含まれるため検索対象から外した)

#### 4. CD-ROM版『新潮文庫の100冊』の検索結果

CD-ROM版『新潮文庫の100冊』からは、例(21)～例(29)のように合計9例の「一渋る」が出現した。前項動詞の異なり語数は5語であった。この結果を表1に示す。

<sup>3</sup> 杉村(2007a)ではWWWページが有用なコーパスとなりうることを実際の言語分析を通して論じている。

表1 「一渋る」の出現数(『新潮文庫の100冊』<sup>4</sup>)

	V1	ヒット数
1	言う	4
2	燃える	2
3	書く	1
4	売る	1
5	出る	1

- (21) 「純子さんからは——いや、竹野さんからは何もあなたに言うなど釘をさされてるんですが……」谷口が言い渋っている。(赤川次郎『女社長に乾杯!』)
- (22) 「誰が犯人かなんて、分かりやせんさ」「その辺はまあ抜かりないと思いますが……」と柳がちよつと言い渋る。(赤川次郎『女社長に乾杯!』)
- (23) 「——その五百万って、どこから出したの?」「それは……」と言い渋っている。(赤川次郎『女社長に乾杯!』)
- (24) 奥さんは云い渋って膝の上に置いた自分の手を眺めていた。(夏目漱石『ころ』)
- (25) 喜助は、ときどき燃えしぶる薪をつつきながら、わきに積みかさねた竹材の節をぬき、京へ行った玉枝が今晚あたりは帰りそうなものだと心待ちしていた。(水上勉『越前竹人形』)
- (26) 炉端へ上ると、燃えしぶる薪を火箸でととのえはじめ、炎がぼつともえ上ると、自分の座にしている木尻に坐った。(水上勉『越前竹人形』)
- (27) 返事を書き渋っていると、大將は、「よし、私が代筆しよう」といって、返事を書いた。(田辺聖子『新源氏物語』)
- (28) たまたま郊外の農家へ野菜を買いに出かけても、金では売り渋って衣類をよこせば売ってもいいと云うのがありました。(井伏鱒二『黒い雨』)
- (29) 張柏端は酒樓にのぼって柔媚な清談をたたかわすことを好むので、つい履物のことにも気をつかって、きれいな沓でないと外へ出しぶるようになる。(石川淳『張柏端』)

これを見る限り、「一渋る」は「言い渋る」の形で使われることが多いように思われるが、全体の出現数も少なく、作品も一部の小説に偏っている。「一渋る」のように日常さほど

<sup>4</sup> 「言い渋る」と「云い渋る」のように表記の違いのものもまとめて示してある。

多く使われず、辞書の記述もあまりない表現について例文を集めるには、巨大コーパスとしてのインターネットの WWW ページを活用するのが有効であると思われる。

## 5. インターネットの WWW ページの検索結果

本稿ではインターネットの WWW ページをコーパスとして使用することにより、実証的に「-渋る」の V1 に来る動詞の特徴を明らかにする。今回調査した1,068語の動詞のうち、「-渋る」と1件以上共起したものは131語しかなく、杉村(2007c)で扱った「-疲れる」の313語と比べても少なかった。また、100件以上ヒットしたものは「-疲れる」では42語あったのに対し、「-渋る」では13語しかなかった。このことから、「-渋る」はかなり限られた動詞と結びつきやすいことが分かる。ここで「-渋る」のヒット数上位45位までを表2に示しておく。

表2 「-渋る」の V1 に来る動詞上位45語 (WWW ページより)

	V1	ヒット数		V1	ヒット数		V1	ヒット数
1	下げる	54,841	16	産む	31	〃	投げる	〃
2	出す	43,168	17	教える	30	32	あげる	11
3	買う	5,565	18	脱ぐ	28	33	描く	10
4	貸す	5,060	19	咲く	25	34	入る	9
5	払う	3,321	20	返す	22	〃	帰る	〃
6	食う	2,658	21	読む	21	36	打つ	8
7	売る	1,333	22	飲む	19	37	受ける	7
8	上げる	558	23	渡す	18	〃	立てる	〃
9	出る	479	24	押す	17	〃	作る	〃
10	言う	445	25	答える	16	40	撃つ	6
11	行く	433	26	見せる	15	〃	聞く	〃
12	書く	155	27	やる	14	〃	捨てる	〃
13	使う	130	28	入れる	13	〃	逃げる	〃
14	乗る	74	〃	借りる	〃	〃	伸びる	〃
15	食べる	72	30	取る	12	〃	話す	〃

杉村 泰

表2を見ると、「一渋る」の V1には「下げる」、「出す」、「買う」、「貸す」のような他動詞が来やすいことが分かる。また、出現数は減るものの「出る」、「行く」、「乗る」、「咲く」<sup>5</sup>のような非能格自動詞も来ることが分かる。一方、非対格自動詞は9位に「出る」が出現するほかは、40位にやっと「伸び渋る」が6件現れるというように「一渋る」とは共起しにくいことが分かる。

## 6. 「一渋る」の特徴

### 6.1 基本的な特徴

辞書の記述を見ると、本動詞「渋る」には「返事を渋る」、「執筆を渋る」、「金を貸すのを渋る」のように動作主が当該行為の遂行を躊躇する様子を表す他動詞用法と、「筆が渋る」、「売れ行きが渋る」、「腹が渋る」のように主体の動きが滞った状態になることを表す自動詞用法のあることが指摘されている。これについてさらに掘り下げて考えると、他動詞の「渋る」は単に事態の躊躇を表すのではなく、動作主が対象を自らの外に出すことを躊躇し、出し惜みする場合に使われることに気付く。上の例の場合も動作主が「返事」、「執筆の承諾」、「金」を出し惜みして躊躇することを表している。同様に、自動詞の「渋る」も対象の滑らかな流出が滞ることを表している。上の例の場合も「執筆意欲」、「売れ行き」、「便通」の流れが悪く、外に出ずに止まっていることを表している。したがって、「渋る」は自他共に何らかの「出の悪さ」を表す表現であることが分かる。

これと平行して、複合動詞「一渋る」も動作主が対象の流出を惜しむ場合（他動詞用法）、動作主が外に出るのを嫌がる場合（非能格自動詞用法）、対象の流動が悪い場合（非対格自動詞用法）に使われやすい。以下、これらの場合を順に見ていく。

### 6.2 「一渋る」の他動詞用法

今回の調査から明らかのように、「一渋る」の V1には他動詞が来ることが多い。とりわけ、上位には「出し渋る」、「買い渋る」、「貸し渋る」、「払い渋る」、「売り渋る」、「言い渋る」のように、動作主から物や情報が外に流出することを表す動詞が来やすい。このうち「買う」は商品が動作主に向かってくるため、一見流出とは反対の意味のように思われる

<sup>5</sup> この場合の「咲く」は擬人的に使われていると考えられる。



#### コーパスを利用した複合動詞「一渋る」の意味分析

かもしれないが、金銭が動作主から流出することに重点があると考えたとよい。他動詞用法の「一渋る」は基本的に「出し渋る」を意味的コアとして持つ表現であると考えられる。これらの例を例(30)～例(35)に示す。

- (30) 「私が何を言っても、保険会社がああだこうだと難癖をつけて出し渋るので、もう交渉にほとんど疲れてしまいました…」  
(<http://www.kamo-law.com/policy.htm>)2008/9/15
- (31) 今年のお客さんは買い渋っているのか、売り上げがもひとつ伸びない。  
(<http://blacksoftcream.shiga-saku.net/e101763.html>)2008/9/14
- (32) いくら年収が多くても、返済を怠るような人は、自己管理ができない人とみなし、貸し渋ります。  
([http://blog.livedoor.jp/mac\\_sony/archives/25221298.html](http://blog.livedoor.jp/mac_sony/archives/25221298.html))2008/9/15
- (33) 保険の加入は強引にすすめるが、いざというときの保険金は払い渋る。  
(<http://hiraki.seesaa.net/article/19659549.html>)2008/9/16
- (34) ベトナムの農家が更なる価格上昇期待からコーヒーを売り渋っているとの地元トレーダーの話が伝わっている。  
(<http://yosoukai.com/news/index2.php?date=2008-03-03>)2008/9/14
- (35) 女性(25歳)が男性に年齢を聞いた所やたら年齢を言い渋る人がいました。  
([http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q129752677](http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q129752677))2008/9/13

例(36)、例(37)の「取る」や「作る」も通常は対象の流出の意味を伴わないが、「一渋る」と共起すると「責任を取る意を表出する」、「商品を作り出す」という流出の意味が生じてくる。

- (36) 昨今のいろんな責任問題を取り渋る人たちを見て憤慨してたのかも？  
(<http://blogs.dion.ne.jp/dasei/archives/3815325.html>)2008/9/16
- (37) しかも休前日は売れ残りを恐れて作り渋るのであまり残らない  
(<http://life.2ch.net/kankon/kako/1003/10037/1003753955.html>)2008/9/15

ここからさらに、例(38)の「食べ渋る」(72件)、例(39)の「履き渋る」(3件)ように対象の流出の意味が薄れて、動作主が当該行為の遂行を嫌がり躊躇する意味のみを表す用法も出現する。しかし、このような例は「一渋る」全体の中で極めて少数で、例(38)、例(39)も「食べたがらない」、「履きたがらない」と言うのが普通であると思われる。一方、「治

杉村 泰

し渋る」、「植え渋る」、「写し渋る」のように対象の流出を連想しにくいものは1件も出現しなかった。

(38) 手作りのご飯は、なんでも食べますが、ドライフードになると、食べ渋ります。

(<http://trimmer.jp/modules/bluesbb/thread.php?thr=1890&sty=1&num=150>)2008/9/15

(39) 懇親会では、あまりの楽しさに下駄を履き渋る者が続出しました。

(<http://www1.ocn.ne.jp/~shunsou/news.htm>)2008/9/16

なお、表2で出現数第6位の「食い渋る」は釣り用語で、魚がなかなか針に食いつかないことを表す。その例を例(40)に示す。

(40) 「ゼロ釣法」のポイントは、食い渋るチヌにいかに安心してさしエサを捕食させるかにあると思います。結果的にチヌがエサを飲み込んでいるということは、安心してエサを捕食しているということに繋がっていると思います。

### 6.3 「一渋る」の非能格自動詞用法

「一渋る」のV1には他動詞のほか、「出渋る」、「行き渋る」、「乗り渋る」、「咲き渋る」のように非能格自動詞も使われる。これらの「一渋る」は広い意味で動作主が外に出ることを嫌がって躊躇することを表す。このうち、「乗る」は一般に「出る」より「入る」のイメージで使われるが、「乗り渋る」の形で使われると動作主が乗車に踏み出すことを躊躇するという「出る」のイメージで使われるようになる。また、「咲く」は通常無意志動詞として使われるが、「咲き渋る」の形で使われると花が擬人化されて開花の進行を躊躇しているという意味になる。いずれにせよ、非能格自動詞用法の「一渋る」は基本的に「出渋る」を意味的コアとして持つ表現であると考えられる。これらの例を例(41)～例(44)に示す。

(41) そんな中で、泳ぎ仲間との約束もありプールには行きましたが、やっぱりこんなに寒いと出渋ります

(<http://blog.livedoor.jp/sango7/archives/2008-01.html>)2008/9/15

(42) 昨年の9月から学校に行き渋るようになり、今年の7月から完全に行かなくなりました。

(<http://www.bigcosmic.com/board/s/board.cgi?id=s8m8i8&resno=589>)2008/9/14

(43) 千葉市緑区の運転手男性(61)は「毎年収入が二、三割減っている。不景気で客も乗り渋っている。休みはいらぬから毎日仕事したい」と硬い表情。

#### コーパスを利用した複合動詞「一渋る」の意味分析

(<http://namidame.2ch.net/test/read.cgi/news/1221371115/150>) 2008/9/16

(44) 桜は開花したものの低温続きで咲き渋っている。

(<http://www5a.biglobe.ne.jp/~yokoi/zakki/kityou26.htm>) 2008/9/15

同様に、例(45)、例(46)の「入り渋る」や「帰り渋る」も「出渋る」の派生として考えられる。

(45) 一方こちらは、有人スタンド。価格表示がされていない。価格を見て客が入り渋るのを警戒しての処置らしい。

(<http://somh.main.jp/blog/place/city/>) 2008/9/14

(46) 2時間遊んでも遊び足りないらしく、帰り渋りましたが、何とか説得してしましまタウンを後にしました。

([http://blog.livedoor.jp/hiro\\_kazu\\_nori/archives/2006-07.html](http://blog.livedoor.jp/hiro_kazu_nori/archives/2006-07.html)) 2008/9/14

一方、同じ非能格自動詞でも「歩く」のように行為の過程を表すものや「来る」のように到着のイメージが強いもの、「寝る」、「座る」、「遊ぶ」のように特に動作主が外に出ると言う意味をイメージしにくいものは、今回の調査では1件も出現せず、「一渋る」とは共起しにくいことが分かる。

#### 6.4 「一渋る」の非対格自動詞用法

一方、「一渋る」のV1に非対格自動詞が使われることはあまりなく、「出渋る」が多く見られるぐらいである。この「出渋る」は対象の流動が悪く、なかなか外に出ないことを表す。この例を例(47)に示す。(6.3の「出渋る」はガ格に動作主を取る非能格自動詞の例で、こちらはガ格に対象を取る非対格自動詞の例である。)

(47) 腹部を圧迫する事が多い・ジーンズを履いていると尿が出渋る・風呂に入ると軽快する

(<http://zenritsusen.karou.jp/4.html>) 2008/9/15

その他、出現数は少ないものの「伸び渋る」(6件)、「売れ渋る」(3件)、「流れ渋る」(1件)というものもある。ただし、例(48)～例(50)はそれぞれ「伸び悩む」、「売れ行きが悪い」、「流れが悪くなっている」と言うのが普通であると思われる。これらはあえて「一渋る」を使うことによって、当該事態の進行が滑らかに進まず、滞った状態になることを強調した言い方であると考えられる。

杉村 泰

- (48) おそらくこれで身長が伸び渋ったかなと、同じサッカー部の同級生も身長高い奴らちらほらいたのに高校2年になってみればみんな165ぐらいだった。

(<http://www.23ch.info/test/read.cgi/body/1211103296/>)2008/9/16

- (49) その人気は相当なもので、同日に行われた岡田ジャパンこと、サッカー日本代表の試合のチケットが売れ渋る中、なんとハンドボール男子の日韓戦チケットは、前売り発売開始数秒で完売したと言う。

([http://blogs.dion.ne.jp/vitz/archives/cat\\_260752-1.html](http://blogs.dion.ne.jp/vitz/archives/cat_260752-1.html))2008/9/14

- (50) 流れ渋っているリンパを揉み解すので、少々痛みが生じるのだけど、この痛みが効いている気がして、どんどん解してくださいという思いになってくるから不思議。

(<http://beema.blog66.fc2.com/blog-date-200804.html>)2008/9/16

一方、同じ非対格自動詞でも「治る」、「固まる」、「冷える」などは流動のイメージがなく、今回の調査では1件も出現せず、「一渋る」とは共起しにくいことが分かる。

また、非対格自動詞用法の「一渋る」には、「上げ渋る」、「下げ渋る」のように V1に他動詞が来るものがある。この例を例(51)～例(53)に示す。

- (51) 下げ渋るとは、下値をどンドンと切り下げている相場が、緩やかな下げに転じ、底をついた様な感じになる事です。または、下げそうな相場なのに、案外と相場が下がらない状態も下げ渋る。と言います。

([http://www.saki-mono.com/archives/2005/10/post\\_187.php](http://www.saki-mono.com/archives/2005/10/post_187.php))2008/9/15

- (52) 東京市場の前場は前日の米国株の下落などを受け、日経平均が一時前日比222円安まで下落したものの、後場寄り同166円安と、前場寄り付きの水準に戻る形での再スタートとなり、その後はほぼ一貫して下げ渋る展開になった。

(<http://www.toyokeizai.net/money/markett2/detail/AC/f793fc2c7541a3e5e8b791205ba6719e/>)

2008/9/15

- (53) 2日の東京外為市場午前のドル・円は、原油価格が軟調に推移し、東京株式市場が堅調に推移したことで、本邦機関投資家からの買いで107円77銭から108円54銭まで上昇したものの、戻り売り圧力強く上げ渋る展開となった。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20080902-00000023-fis-brf>)2008/9/13

「株価や円が上げ(下げ)渋る」は「市場は値を上げる(下げる)のを渋る」という他動詞用法から派生した経済用語である。このような例は「(相場が)持ち直す」や「(景気が)揺

り戻す」など経済用語によく見られる用法である。

## 7. まとめ

以上、本稿では本動詞「渋る」の意味を考察し直した上で、複合動詞「-渋る」の意味について分析した。その結果をまとめると次のようになる。

本動詞「渋る」

### ①他動詞用法

文型:動作主ガ 対象(事態)ヲ 渋る

(彼が返事を渋る、作家が執筆を渋る、銀行が金を貸すのを渋る)

意味:動作主が対象を自らの外に出すことを躊躇し、出し惜しみすることを表す

### ②非対格自動詞用法

文型:主体ハ 対象(事態)ガ 渋る

(記者は筆が渋る、この雑誌は売れ行きが渋る、私は腹が渋る)

意味:対象の滑らかな流出が滞ることを表す

複合動詞「-渋る」

### ①他動使用法

文型:動作主ガ 対象ヲ ~し渋る

前項動詞:動作主から物や情報が外に流出することを表す動詞が来やすい

(保険会社が保険金を出し渋る、買い渋る、貸し渋る、払い渋る、売り渋る、言い渋る)

意味:動作主が~して対象を自らの外に出すことを躊躇し、出し惜しみすることを表す

### ②非能格自動詞用法

文型:動作主ガ ~し渋る

前項動詞:動作主が中から外に出ることを表す動詞が来やすい

(彼女は寒いと外に出渋る、行き渋る、乗り渋る、咲き渋る)

意味:動作主が~するのを嫌がって躊躇し、なかなか出ようとしなないことを表す

### ③非対格自動詞用法

文型:主体ハ 対象ガ ~し渋る

杉村 泰

前項動詞:「出る」、「(値を)上げる／下げる」

(私は寒くなると尿が出渋る、市場では円が上げ／下げ渋っている)

意味:対象の滑らかな流出が滞ることを表す(出渋る)、株価や円の値上がり／値下がり鈍って動きが滞ることを表す(上げ渋る／下げ渋る)

今後は類義表現の「一惜しむ」について分析し、「一渋る」と比較しながら考察する予定である。

### 参考文献

- 荻野綱男(2007)「コーパスとしてのWWW検索の活用」『月刊言語』第36巻第7号,大修館書店, pp. 26-33
- 影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房
- 小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹(1989)『日本語基本動詞用法辞典』,大修館書店
- 杉村 泰(2006)「コーパスを利用した複合動詞「一直す」の意味分析」『言語文化論集』第28巻第1号,名古屋大学大学院国際言語文化研究科, pp. 51-66
- (2007a)「インターネットを利用した日本語の類義分析」『月刊言語』第36巻第7号,大修館書店, pp.42-49
- (2007b)「コーパスを利用した複合動詞「一戻す」の意味分析」『言語文化論集』第29巻第1号,名古屋大学大学院国際言語文化研究科, pp. 15-28
- (2007c)「複合動詞「一疲れる」の前項動詞の特徴について」『ことばの科学』第20号,名古屋大学言語文化研究会, pp. 101-115
- 松本 曜(1998)「日本語の語彙的複合動詞における動詞の組み合わせ」『言語研究』第114号,日本言語学会, pp. 37-82
- 小学館辞典編集部(編)(1994)『使い方の分かる類語例解辞典』,小学館
- 新村 出(編)(1983)『広辞苑』(第3版),岩波書店
- 松村明・山口明徳・和田利政(編)(1992)『旺文社国語辞典』(第8版),旺文社
- 山田忠雄(主幹)(1989)『新明解国語辞典』(第4版),三省堂

コーパスを利用した複合動詞「一渋る」の意味分析

[付記] 本稿は平成19-21年度科学研究費助成金(基盤研究(C))(課題番号19520451)による研究成果の一部である。

